

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和5年7月1日

事業所名 児童サポートセンターのびのび

保護者等数 (児童数) 23人 回収数 19人 割合 83%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	9	0	0		使用した物や必要ない物をその都度片付けていようとし、安全安心して過ごせるスペースを確保できるように努めていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3	0	1	たまに職員の人数が少なく感じる時がある。(2名回答)	職員の人数が少ないとの意見があった。定められた職員配置は満たしている。利用者の状況によっては少なく感じられるため職員の人数を増やす事だけでなく、職員の質の向上をしていき、職員数が少なくても適切に支援できるように努めていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	2	2	0		安全面への配慮は随時危険がないか等を検討、改善していけるように努めている。バリアフリー化が不可能な場所もあるので、段差などは見守りや、声掛けを行っていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	5	1	0	手洗い後の消毒が何で出来ているか気になる。たまに臭い時がある。(1名回答) 水回りがもっと清潔だと嬉しい。(1名回答) 1名無回答。	手指消毒にも使用できる塩素を薄めた物を使用している。こまめに交換していく等衛生的にしていくように努めていく。水回りに関しても清潔にしてほしいとの意見があった。心地よく過ごす事が出来るよう毎日清掃は行っているが不届きな部分があったと思われるため、清掃後にはチェックを行うなどをしていく。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	2	0	0		ニーズや課題に関して保護者と話し、支援計画を作成していけるように努めていく。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	1	0	3	「家族支援」、「地域支援」についてはよくわからない。(1名回答) 1名無回答。	支援計画には主に本人の発達支援に関して作成している。項目として「家族支援」、「地域支援」は記されていない。しかし、保護者からの聞き取りを行い、支援が必要と感じた時には面談等で丁寧に説明をし、必要性があれば関係機関との連携や情報共有を行い支援を行っている。子どもに応じた支援内容をわかりやすく具体的に設定し、保護者に説明していけるように今後も努めていく。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	2	1	0	遊びを通してもう少し友達の輪の中に入れてほしい。(1名回答)	保護者と子どもの発達や課題を共有し支援計画の作成をしている。また保護者との面談後には全職員で面談内容や支援計画を共有し、統一した支援に繋げている。面談時だけでなく、日頃から保護者と子どもの発達や課題、支援について共有できるよう努めていく。また子どもの状況や発達段階を考えながら子ども同士が関われる活動や遊び、きっかけ作りを行っていく。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16	2	1	0	2ヶ月続くことが多い。もう少し色々やらせたい。(1名回答)	活動内容は毎月全職員で検討し立案している。2ヶ月活動が続くことがあるとの意見も見られた。継続する意図としては同じ活動を行う事で子どもに変化が見られる為行っているが、保護者に意図や、目的、継続してきた変化を伝える事が不十分になっていた。今後もしっかりと活動の目的や継続する意図について伝えていくように努めていく。また、固定化していかないようにニーズや子どもたちの状況に合わせて活動を工夫していけるように努めていく。

保護者へ	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	3	5	3	コロナ禍なので仕方ないと思う。(1名回答) 子どもの特性によりけりだと思うがあまりない。(1名回答)	活動として交流する機会は取り入れていない。今後保護者からの要望などがあれば検討していく。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	0		契約時、変更時に書面も添えて説明を行っている。今後もわかりやすく、丁寧に説明できるように努めていく。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	0	0	1	ガイドラインに基づいているかはわからない。支援内容の説明はされている。(1名回答) しっかり説明していただいています。(1名回答)	今後も支援計画の作成時、変更時には保護者と共有が出来るようにわかりやすくより丁寧に説明していく。

の説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	14	4	0	1	年1回父母会の方からの提案で父母会内でやる事はあるけど、事業所の方からの申し出はない気がする。(1名回答) 父母会等で聞けるお話は為になってありがたい。(1名回答)	ペアレントトレーニングに関しては事業所からの発信で父母会にて勉強会として行っている。月に1回父母会、療育中に母子分離の時間を作り、保護者のグループワークの時間を設けている。その中で保護者から知りたい事や、テーマをお聞きし、それらに沿って職員が話をしている。情報や資料についても周知している。今後も継続的にやっていく。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	0	0	1	悩んでいる親御さんには説明はしているけど、聞いてこない人には状況説明は少ない気がする。(1名回答) ちょっとした会話の中でも、必要なことを拾い上げて後日、その後の事を聞いてくれるのでありがたい。(1名回答)	必要に応じて保護者、保育園等の関係機関と会議を開き共通理解を図ってきた。また日頃から保護者ともコミュニケーションを取りながら子どもの状況等を共有出来るように努めてきたが不十分な部分があったかもしれない。今後はより丁寧に保護者としっかりと共通理解や状況説明が出来るようコミュニケーションを積極的に取ると共に、支援の質の向上に努めていく。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	3	1	0	半年に1回のはずが年1回もしくはやってない年もある。(1名回答) 困り事の相談をすると色々アドバイスをもらえるので助かっている。(1名回答)	担当者会議を含めて定期的に面談が行えるように計画を立て行ってきた。今後も定期的に面談を行っていき、随時相談があった際には職員間で検討して助言や支援を行っていけるよう努めていく。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	2	0	1	平日だと参加できないことが多いのでオンラインや土日もなにかあればうれしい。(1名回答)	多くの保護者が参加できるように日程を調整し、定期的に父母会は行っている。平日だと参加できないとの意見も見られたため、今後も保護者が参加しやすい日程や方法のニーズの聞き取りを行い、検討していきたいように努めていく。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	3	0	0	職員によるものか、なかなか時間を取ってもらえない時もある。それなら意見箱に入れて後で答えるの方が助かるかなと思う。(1名回答) こども園との話し合いの機会を作ってもらった事はすごくよかった。(1名回答)	面談や申入れの体制、環境は整えている。相談等があった場合にはなるべくその場で対応できるように努めてきたが、その場で対応が難しいときには職員で共有し後日改めて対応してきた。どの職員に申入れをしても迅速かつ適切に対応が出来るように努めていく。またご意見でいただいたような意見箱のように、気軽に相談や申入れが出来る方法も今後検討していく。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	2	0	1		子どもそれぞれの発達や特性に合わせたツールを使用し、伝え方を変えている。また保護者にもその時々に必要な情報が伝えられるように努めている。今後も全職員が子どもの発達、特性をしっかりと理解しそれぞれに合った伝え方が出来るよう努める。また保護者が知りたい情報が何かという事を把握しながら必要な時にしっかりと情報提供が出来るように努めていく。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1	1	2	1名無回答。	活動の予定は毎月出している。連絡事項等は父母会の会議議事録に記載してもらい発信している。評価表の結果は利用者に配布し、ホームページにも載せている。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	2	0	2		名前などが書かれてある物はシュレッダーで処分し、個人情報に関しては鍵付きの書庫に入れて保管するようにしている。	
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	1	0	1		緊急時対応や、感染症に関してはマニュアルを作成している。必要に応じて保護者へ説明や周知を行っている。感染症の流行時は手紙を配布し、注意喚起や感染した際の対応について話をしている。防犯マニュアルについては策定は出来ていない為今後法人内で検討していく。
		㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1	0	3		月1回避難訓練を活動として行っている。今後も非常災害時、安全に避難できるように訓練を実施していく。

満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1	0	1	苦手なことを克服させてもらってるので嫌がる時もある。(1名回答)	通所する子どもたちが楽しめるような活動内容や、関わりが出来るように取り組んでいる。発達や状況を見て達成感や充実感を持てるような支援をしていけるように努め、楽しく通える場所にしていけるようにしていく。
	㉑	事業所の支援に満足しているか	18	1	0	0		今後も親子で通所する中で楽しく、安心して居心地のいい場所にしていけるように努めていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年7月1日

事業所名 児童サポートセンターのびのび

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	0	人数が多い時には、椅子の並べ方、座る位置など工夫している。部屋が少し狭いが、事故にならないように目を配っている。無駄な物をおかないようにし、環境整備に心がけている。	利用者の人数が多い時はスペースが狭くなってしまう。安全に過ごせるように必要な物などは置かないようにし、スペース確保に努めていく。
	②	職員の配置数は適切である	5	2	0	利用者の人数によって適切に職員を配置するようにしている。	定められている人員配置は満たしているが、利用人数が多い時や利用者の状況によっては職員数が少なく感じる時がある。職員数を増やすだけでなく、職員の質の向上をしていながら、職員数が少なくても適切に支援が行っていただけるように努めていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	0	子どもにとって刺激になりそうな物はその都度、片付けている。エレベーターを設置してある等、障がい特性に合わせて使用する部屋を分けるなど環境整備を行っている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	0	毎日掃除や洗濯をこまめに行い、利用後には玩具など使用した物や場所に対し消毒を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	1	毎日の打ち合わせや、反省会にて情報共有するようにしている。	会議、打ち合わせ等で連絡事項や子どもの様子、支援について共有しながら改善点や振り返りを行っているが共有出来ているかの確認は必要である。随時確認作業をしていながら全職員が共有できるよう努めていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	1	保護者からの意見に対し、早急に対応できることは改善するように努力している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	1	利用者には集計後、改善内容などを載せた結果を配布し、ホームページでも公開を行っている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	1		第三者による外部評価は出来ていない。今後第三者による評価をってもらう事を検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	法人内の研修、外部の研修も可能な限り参加している。リモートでの参加や、勤務体制の調整をしてもらうなどの工夫をしながら機会を確保している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	1	評価シートを用いている。会議にて検討し、支援計画に繋げていけるように課題や実態を共有している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	1	標準化された評価シートを使用して子どもの状況、姿を職員間で共有している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	1	「発達支援」に関して支援計画書を作成している。「家族支援」、「地域支援」に関しては関係機関との連携をはかり支援会議や情報共有を行っている。	「家族支援」は項目として書かれていないが、「家族支援」や「地域支援」の内容を関係機関と共有している。今後も支援に反映し、必要であれば記載していく事を検討していく。

	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	1	職員間で支援計画を共有して統一した支援を行っている。	今後も職員間で支援計画を共有し統一した支援を行えるように努めていく。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	1	職員間で話し合い、決めている。		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	1	固定化しないようにしているが、継続して行う事で子どもたちの変化を見れるものもあるので目的や意図をもちながら継続し行っている。	継続的に活動を行う際には必ず保護者に活動の意図を説明していくようにする。子どもの発達、状況を把握しながら楽しめる活動を全職員で検討していく。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	1	個別活動は行っていない。しかし、子どもに合わせて個別の対応をし、支援計画を作成するようにしている。		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	利用者の登所前に職員間で打ち合わせを行い、子どもの姿の共有、支援の検討を行っている。		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	事業終了後に反省会を行い子どものその日の姿、支援内容を共有している。	反省会時に意見や、気づきが職員から発信されないこともある。職員それぞれが様々なことに気がつけるような広い視野を持ち、また気づきを支援に活かせるよう、支援や知識の向上に努めていく。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	個別支援記録に記録するようにしている。	記録はされているが具体性が無いことがある。為その都度職員で確認し、支援の検証、改善に繋げる。個別支援記録に具体的に記載することを徹底していく。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	職員会議で評価シートを用いてモニタリングを行い、支援計画の見直しを判断している。		
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	管理者、児童発達支援管理責任者が参画している。	
		22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	0	相談支援専門員、担当保健師、子育て支援課、教育委員会等と連携しながら、関係機関で共有し統一した支援が行えるよう努めている。	
		23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1	1	母子通園である為、保護者を通して職員からの医師に対する質問を聞いてきてもらったり、病院受診で言われた事の共有をしている。	医療機関との直接的な連携は出来ていない。必要な場合は関係機関で集まるなどの担当者会議を開いてもらい連携できるように努めていく。
		24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	4	1	直接的に連絡体制は取れていないが、母子通園の為、保護者を通して医師や訓練士から言われたことを共有している。	必要に応じて関係機関との支援会議を行っている。その際に必要であれば連絡できるように関係機関とも相談し、体制を取れるように努めていく。
		25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	0	子どもの姿や、支援内容などの情報共有をする為に、関係機関で集まり、支援会議を開いている。	
		26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	0	就学相談や、小学校の見学に同行。引継ぎ、情報共有を行っている。	
		27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	1	研修については専門機関の研修などに参加してきた。必要であれば、他事業所と連携を取りながら、情報共有を行っている。	研修については、参加するだけでなく、子どもとの関わりの中で、活用できるよう職員一人一人が、しっかりと意識を持ち研修に参加していく。
		28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	1		事業所としては行っていない。保護者からの要望があれば検討していく。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	1	担当者(管理者)が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	保護者と子どもの行動の意味や、発達の状況、課題について共有できるよう、日頃からコミュニケーションを取っている。今後も共有できるように努めている。	日頃から些細なことでも保護者と共有できるように話しやすい雰囲気作り等含めてしっかりとコミュニケーションを取っていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0	1	父母会にて勉強会を計画し、実施している。	今後も保護者からの意見や、保護者にとって必要な情報を把握しながら勉強会等を開催出来るようにしていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	1	契約時や変更時に説明し、必ず同意を頂いている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	1	定期的に保護者と面談を行い、子どもの姿、発達、課題を共有したうえで支援計画を作成、説明し、同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	保護者から相談があった場合は職員間で共有し、検討を行ってから助言するようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	0	毎月父母会を行っている。昼食後には保護者がグループワーク出来るように時間を設けている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	保護者から相談がある時には必要に応じて、別で時間を設ける等体制を整えている。また、内容によっては保護者へ周知するように努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	活動の予定は毎月出すようにしている。法人の会員には年4回会報を発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	0	名前等がわかるものは必ずシュレッダーして破棄する。個人情報については鍵付き書庫へ保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	子どものそれぞれの発達、特性によって伝え方やツールを変えている。また保護者へも書面で情報を提供したり、その時々に必要な情報がどのような提示の仕方なら分かりやすいかを検討しながら伝えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	1		流行病の事も考慮し、地域の方たちを招く等の行事等は行っていない。地域の方に知ってもらえるように積極的に挨拶するなど行っていく。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	3	1	感染症に関しては情報があれば周知するようにしてきた。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	1	毎月活動として訓練を実施している。避難物資を備えている。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	1	契約時には必ず確認し全職員で情報共有を行っている。また、利用時には体調等の確認を保護者に行っている。	

44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	1	保護者に確認をしている。	対象者がいる場合は保護者に確認するなどの対応を行っている。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	1	ヒヤリハットがある場合、共有しながら今後どのように対応していくか検討している。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	法人内で研修を行い、全職員が参加している。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	1	やむを得ず身体拘束を行う場合には必ず事前に保護者も含め、全職員で検討をしている。その上で必要となった場合には、改めて保護者に説明し、同意を得て支援計画に記載している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。